

2020年11月10日

各 位

会社名 株式会社 CSS ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 林田 喜一郎  
(JASDAQ コード番号 2304)  
問合せ先 執行役員 岩崎 善彦  
(TEL 03-6661-7840)

### 連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は2020年9月期(2019年10月1日～2020年9月30日)の連結業績と前期実績値に下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期連結業績と前期実績値との差異(2019年10月1日～2020年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株あたり 当期純利益
前期実績(A)	18,445	455	445	△110	△21.81円
当期実績(B)	11,962	△1,072	258	23	4.65円
増減額(B-A)	△6,483	△1,527	△186	133	—
増減率	△35.1%	△335.4%	△41.8%	△121.3%	—

#### 2. 差異の理由

売上高については、連結第2四半期(2019年10月1日～2020年3月31日)まで各セグメントは概ね堅調に推移しておりましたが、その後の新型コロナウイルス感染症の拡大により、売上高は大きく落ち込みました。特に主要顧客をホテルとするスチュワード事業とフードサービス事業の両セグメントは大きく影響を受けました。

営業利益については、スチュワード事業とフードサービス事業の両セグメントにおいては業績回復に備えた雇用確保の観点から、賃金補償をした上で、パート・アルバイトを含む従業員に休業させたことで、人件費の負担が大きく損失計上となりました。

経常利益については、雇用調整助成金の特例措置による給付金を営業外収益に計上したことから黒字となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、株式会社センダンの子会社となる株式会社パトリオットバトンが新型コロナウイルス感染症の影響により収支が悪化、株式評価減を特別損失として計上したことから経常利益との差異が拡大いたしました。

以上